

## 帯広建設業協会との意見交換の概要

1 日 時 11月1日(水) 13:00~14:30

2 場 所 帯広建設業協会会長室

3 出席者

帯広建設業協会 4名

北海道総務部入札指導監察監室 2名

4 意見の内容(要旨)

ランダム・カット式指名選考について

- ・ 8回指名候補に上って7回連続、5回指名候補で5回連続、4回指名候補で3回連続してカットされた業者もあると聞く。
- ・ これでは受注機会がなくなり、運・不運で会社の経営ができるのか、という意見がある。いくら努力しても土俵に上がれない。
- ・ ランダム・カットは、企業の経営力や技術力を生かしていくという、中建審や行動計画の考え方と相反している。
- ・ 年間の経営計画に立って、この仕事は絶対取ろうという意欲がありながら、ランダム・カットではずれる。工事件数の分母が大きければよいが、少ないと大変である。
- ・ 宝くじみたいなものであり、選ぶ側が企業特性、地域性、営業努力を否定しており、大変疑問を持っている。
- ・ 特に、特殊・特異な工事について、自分が取ろうとする場合、労働力の確保、設備投資など事前に綿密な計画を立てる~このことが正に地域経済に寄与していると考えるが、ランダム・カットが前提にあると積極的になれない。先行投資もできない。
- ・ 恣意性の排除をいうのであれば、発注者責任の放棄であり、企業には経営力の減退を来すことになる。
- ・ 指名基準を厳格にして、もっと競争性を高めることが基本である。

指名業者の入札執行時公表について

- ・ 競争する場合、相手の技術力、手持ち工事量などを比較しながらやるものである。相手がわかってはじめて競争ができる。
- ・ 発注者側と受注者側の信頼が早く確立されればと願っている。

予定価格の事前公表について

- ・ 今まで会員に対しては、積算能力の向上を指導してきた。事前公表によって、

入札が単なる数字合わせになっている。

- ・ 商売で言えば、お客さんの方が先に価格を提示しているようなものである。
- ・ 予定価格という回答が見えているところで積算しても、本当の積算能力は身に付かない。
- ・ 積算もしないで入札書の金額を入れるだけの業者が増えるだけであり、経営と技術の向上に努力している者がむくわれない。早急に改善すべきである。
- ・ ダンピングの競争になる可能性が強く、徹底した低入札の傾向になる恐れがある。この状態が続けば、業界自体が成り立たなくなる。品質の確保ができるのか心配である。
- ・ 発注者が積算内容など、十分なチェックができていないか不安である。

技術力の評価について

- ・ 透明性の高い指名基準が重要であり、技術力と経営力の高い業者が選ばれる制度に持っていくべきである。
- ・ 施工したものは、財産として後世に残っていくものであり、品質が確保できる方式が重要になってくる。
- ・ 品質を確保するため、V E方式、プロポーザル方式、総合的技術提案方式を拡大し、一番優れている者と随意契約できるよう検討すべきである。
- ・ 役所の技術者と施工側は役割分担すべきであり、発注者側は計画立案、住民との協議等の責任があり、施工側が現場のノウハウをV E方式やプロポーザル方式などで提供していくべきである。
- ・ 役所の技術者は、インハウスエンジニアリングなど大きいものに特化していくべきである。
- ・ 役所の職員を見ていて制約が多すぎる。もっと、我々と対等の立場で技術論、地域論を交換できる仕組みを考えて欲しい。
- ・ 数年前、土現で、施工業者も参加した仮設費検討委員会を開催していたが、このような地域に根ざした企業を生かす仕組みを考えて欲しい。
- ・ 工事施行成績評点制度は非常によい。我々の励みになっている。

不良不適格業者の排除について

- ・ モニタリングを採用して、手抜き等故意の不正工事を行った者は、二度と立ち上がれないよう強い姿勢で臨み、不良不適格業者を排除していく必要がある。
- ・ 本当に良い会社、地域に貢献している会社を見極めて欲しい。
- ・ 事業評価のため、入り口だけでなく、できたものへの対応、「瑕疵」についてフォローする仕組みが必要である。
- ・ 社会基盤の整備は、人の生命を守ることにつながる。目先、価格だけにとらわれて、長い目で見て道の発展につながるのか疑問である。
- ・ 地元の業者は、おかしな工事はできない。不良不適格業者の排除のため、建

設業許可の取り消しなど厳正に対応して欲しい。

- ・ これまでは、だめなところも助けていた事例もあるが、道として、権威を持って、良い意味で恣意的に行って欲しい。

その他

- ・ 総論として、行政、業界とも変わっていかねばならないが、地域経済の実状を理解して欲しい。過去の指名競争入札が悪いわけではないと思っている。